



最初にお読みください

AT-TQ4600/4400

AT-SecureEnterpriseSDN Controller対応ファームウェア リリースノート

この度は、AT-TQ4600/4400 を買いあげいただき、誠にありがとうございます。このリリースノートは、マニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 1.0.0

本バージョンは、ファームウェアバージョン 3.1.1 に準拠しています。3.1.1 の制限事項等は、本バージョンにも該当しますので、3.1.1 のリリースノートも併せてお読みください。
また、本バージョンにおける機能動作については「3 サポート機能」をご確認ください。

2 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 1.0.0 には、以下の制限事項があります。

- 同一周波数帯を使用する端末間では、異なる VLAN に所属していても通信ができてしまいます。
- DHCP クライアント機能において IP アドレスが正しく取得できません。IP アドレスを割り当てる場合は、スタティックで割り当ててください。
- WEB ブラウザーから本製品を再起動すると、WEB ブラウザーのページが「更新中」の表示のままになり、自動で切り替わりません。しばらく待ってから WEB ブラウザーの再読み込みを行ってください。
- フローエントリ上ではマルチキャストが転送されない VLAN セグメントに所属する端末であっても、同一周波数帯で既にマルチキャストを受信している端末が存在する状態で、グループ参加要求を送れば、別 VLAN 宛のマルチキャストを受信します。
- 送信元指定によるマルチキャストのフィルタリングは未サポートです。送信元に関係なく、グループアドレスに基づく転送が行われます。
- ワイヤレスマネージャーから AP Profile を適用する際、無線ネットワークにおけるセキュリティー方式に、本バージョンではサポートしていない「スタティック WEP」が含まれていても、適用できてしまいます。
- ワイヤレスマネージャーから AP プロファイルを適用する際、無線ネットワークにおけるセキュリティー方式に、本バージョンではサポートしていない「IEEE802.1x」が含まれていても、適用できてしまいます。
- 本製品の内部通信用のパケットが AT-SESC に送信される場合があり、それに伴ってフローが登録されますが、動作には影響ありません。
- 無線インターフェースに接続している端末と本製品との通信はできません。本製品との通信を行う際には、有線インターフェースを使用してください。
- 本製品の配下に接続するデバイスには、AT-SESC 上の設定で、認証時に VLAN をアサインするようにしてください（AT-SESC 上でネットワークが割り当てられたユーザーをデバイスに割り当ててください）。その際、VLAN ID には 1 以外を指定してください。

3 サポート機能

無線部	
IEEE 802.11 規格	IEEE 802.11、IEEE 802.11a/b/g/n/ac
データ通信速度 ※1	802.11a/g : 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps 自動切替
	802.11b : 11/5.5/2/1Mbps 自動切替
	802.11n : MCS データレート自動切替 (Mbps)
	802.11ac : 最大 1,300Mbps (AT-TQ4600) 最大 867Mbps (AT-TQ4400)
チャンネル数	802.11a : 19 チャンネル (W52/W53/W56)
	802.11b : 13 チャンネル
	802.11g : 13 チャンネル
	802.11n (2.4GHz) : 13 チャンネル
	802.11n (5GHz) : 19 チャンネル
	802.11ac : 19 チャンネル
無線部詳細	
	Auto チャンネル候補
	定期チャンネル更新
	使用帯域幅
	制御用チャンネル
	ショートガードインターバル
	ビーコンに国情報を付加
	プロテクション
	ビーコン間隔
	DTIM 間隔
	パケット分割しきい値
	RTS しきい値
	最大ステーション数 (接続台数制限)
	送信出力
イーサネット設定	
IP 関連	スタティック IP アドレス
	サブネットマスク
	デフォルトゲートウェイ
	DNS ネームサーバー
VAP	
	SSID 名の変更
	SSID のブロードキャスト (SSID 隠蔽)
	セキュリティ設定
VAP セキュリティ	
認証方式	オープンシステム認証
	WPA パーソナル
	WPA2 パーソナル
	WPA エンタープライズ
	WPA2 エンタープライズ ※2
暗号化	WPA / WPA2 : AES

VAP セキュリティー	
RADIUS	RADIUS アカウンティング
	セカンダリー RADIUS サーバー
その他	隣接 AP 検出
	ANY 接続拒否
	無線クライアント間通信禁止
オプション	
	SNMP MIB (v1/v2c) /SNMPトラップ
	Eco LED
	Web GUI による設定 (HTTP/HTTPS)
	NTP クライアント
その他管理機能	
	設定のバックアップとリストア
	ファームウェアの更新 ※3
	ロギング (buffer/permanent/syslog)
	統計情報表示
	WMM による集中一括管理 / 監視
有線部	
準拠規格	IEEE 802.3 (10BASE-T)
	IEEE 802.3u (100BASE-TX)
	IEEE 802.3ab (1000BASE-T)
	IEEE 802.3x (Flow Control)
	IEEE 802.3af (Power over Ethernet)
	IEEE 802.1Q (VLAN Tagging)
	オートネゴシエーション、MDI/MDI-X 自動認識

※1 通信速度の自動切替は行われますが、実速度は OpenFlow 処理速度に依存します。

※2 事前認証は未サポート

※3 搭載可能なファームウェアは 1 つのみです。

4 リファレンスマニュアルについて

最新の AT-TQ シリーズ リファレンスマニュアル (613-001965 Rev.D)、AT-SESC リファレンスマニュアル「AT-SecureEnterpriseSDN Controller リファレンスマニュアル」(613-002214 Rev.A) は弊社ホームページに掲載されています。本リリースノートは、上記のリファレンスマニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちのリファレンスマニュアルが上記のものでない場合は、弊社ホームページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>